

宮城県立聴覚支援学校 情報教育部

MSDJ 通心 2022.4.8

なんでも情報誌!!

文責：大槻

**春の予感!!**
満開間近!!

いつも不法侵入している「ノラ猫」も、ご覧のとおり元気に活動しています。彼・彼女?には、コロナの影響など全く関係無いようです。うらやましいです!!

令和4年度のスタートです。新しく来られた先生方の着任式と合わせて始業式が行われ、校舎には久々に活気が戻りました。

始業式!!

支援学校敷地西側入り口にある「桜」のつぼみも、春の陽気に合わせてふくらみはじめましたので、満開ももうすぐです。



ました。しかし、耳に障害を持っている方のために、そのような設定になっているのかも知れませんが、安易なことは言えませんが、3月の卒業式での手話歌の音楽を流すときには、生徒さんからも同じような感想が寄せられました。

ささいな点としては、音を拾うのに、コンマ数秒途切れることでしょうか。

3月に小学部で行われた「学びの発表会」を見学させていただいたときにはそれほど違和感はありませんでした。部屋の大きさ・人数・日常会話なのか式典のときのよう話しかたのか等、様々な要因でロジャーに対する評価が違ってくるように感じました。

今回の入学式では、小中学部は「ロジャー」のみで実施しますが、高専部はこれまで式典で使ってきたアンプをメインにして、「マイクの音声をロジャーの親機を介して



ロジャーを使っている生徒さんに送信しながら、従来のスピーカーからも出力します。

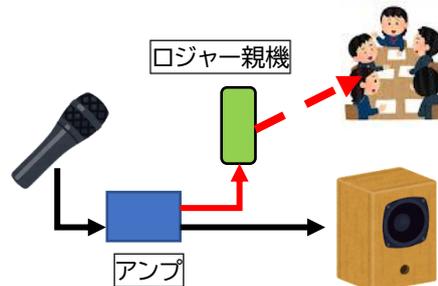
系統図は下記のとおりですが、式前行では、動作については特に問題はありませんでしたので、実施後に検証したいと思えます。先生方のご意見もいただくと助かります。

**補聴支援システム**
ロジャーの新しい活用法!!

ロジャー マイクロホンから補聴器への直接ストリーミングを可能にするこのシステムは、聴覚支援学校ならではの支援システムといえます。昨年度より、本校でも本格的に利用を進めてきましたが、利用して初めて気づくこともありました。もしかしたら、私だけの感想になってしまうかも知れませんが、その点を踏まえて読み進めていただければと思います。

まず優れている点は、設備のセッティングの上で、誰にでも簡単に操作できる装置であるということです。軽量化されたスピーカーと首に下げる親機と子機、そして「生徒の個々の補聴器」へ、音声を送信できることです。スピーカーは指向性が強く、音が減勢しないというのも特徴の一つです。

やや気になる点としては、軽量化されたスピーカー故なのか、音域が高音依りで、私としては聞きづらいと感じ



パソコン室を少しだけ整頓しました。目線を変えると、まるで大都会です!!



入学式、晴れますように!!

校内掲示に限る

宮城県立聴覚支援学校 情報教育部
(MIYAGI School for Deaf) + (J)**MSDJ 通心** 2022.4.13

なんでも情報誌!!

文責：大槻浩義



新年度本格スタート!!

4月11日(月)の入学式で新入生を迎え、令和4年度が本格的にスタートしました。校舎に隣接する八本松公園の桜も新年度を祝うかのように満開となり、12日には各クラス思い出の記念撮影が行われていました。



八本松公園を縄張りとしている



るだろう例の「ノラ猫(自由ネコ)」は外出中なのか姿を見ることはできませんでした。代わりに、犬と一緒に散歩をする家族連れや、スティックでゲートボールをたたく音が公園に響いていました。

年度はじめに 確認しておきたいこと!!

学習・生活・進路 & 「情報モラル」

新年度になって、心得ておきたいことや確認事項の説明が、LHRで行われました。今年度から本校の高等部と専攻科は「前期と後期の2学期制」となり、新しいスタイルでの教育活動が行われます。新教育課程実施初年度でもあるので、転換期に対応しながら取り組んでいきたいものです。



「情報モラル研修」を、職員対象として4月6日、中学部が12日、高等部は13日に実施しました。

この研修は、「宮城県情報セキュリティ基本指針(情報セキュリティポリシー)」に則り実施されるものです。

職員対象の研修では、①情報セキュリティポリシーについて、②情報セキュリティ事故を無くすために、③情

報資産を分類し、適切に取り扱う、④著作権について、の4部構成で悉皆研修として実施しました。コロナ対策のために会場を2カ所に分けてリモートで実施しましたが、職員研修では89.7%の高受講率を達成しました。都合により未受講の先生方には近々ご案内します。



一昔前の年の瀬ともなれば、「年賀はがき」を買いに郵便局に行っても売り切れていることが多かったのですが、昨年の暮れは、郵便局のグッズまでいただき大変感謝されてしまいました。手紙をしたため、返信を指折り数えて待った時代と現代とでは大分様子が違ってきました。

中学部・高等部の皆さんには、スマートフォン(スマホ)を利用するに当たって気を付けほしいことについて、アプリを使いながら説明しました。自撮り(当初は地鶏?で意味不明)での注意点や、認証のシステムについても学びました。



アナログな時代と違って、安易な投稿や言葉が簡単に飛び交います。変換ミスや、言葉の持つ意味が二様^{によう}に与えられることでの誤解もあります。

確実に言えることは「便利になったが、その分リスクがともなう^{かいこしゅぎ}」ということではないかと思います。懐古主義ではありません。確実に便利になっていますので、正しく利用したいと思います。



プロジェクト側のHDMI端子での入力は、音声出力に対応しています。

【今後の予定】

○オンラインシステム説明会(4月下旬)

宮城県立聴覚支援学校 情報教育部
(MIYAGI School for Deaf) + (J)

MSDJ 通心 2022.4.26
なんでも情報誌!!

文責：大槻浩義



「樺（ケヤキ）」 新緑の季節!!

本校の「校木」である樺（ケヤキ）が芽を吹きはじめ、いよいよ新緑の季節となりました。（4/25 撮影）。つい先日は「桜の花」が春の訪れを知らせてくれましたが、今は「樺」が生命の力強さを主張しています。校木のケヤキには、「障害をもつ子ども達がケヤキのように、たくましく大きく力強く伸びていくように」との願いが込められています。



朝の通勤で校舎南側の道を通っていると、幼稚部の先生が、遊具に降り積もった桜の花びらを掃きながら子どもさんたちの登園の準備をしていました。よく見ると、そばには小さな「畑」もあり、話を伺ったところ「トマトやサツマイモの植栽」を進めているとのことでした。空気をタップリと含んだふかふかの布団のようで、連休明けのさつまいも植えが待ち遠しいです。（4/22 撮影）

小学部の中庭の花壇は「チューリップ」であふれていました。（4/22 撮影）



校内オンラインシステム説明会

令和2年2月28日、「文部科学省からの一斉臨時休業に関する通知」を受けて、本県でも3度の延期を重ねて約90日間もの臨時休業となったことは記憶に新しいと思います。その様な状況の中、これより少し前のGIGAスクール構想に始まり、G Suite（Google社が提供するビジネス向けクラウド型グループウェアサービス）によるオンライン授業ができる環境も徐々に整ってきました。



今年も昨年に引き続き、職員向けの「オンラインシステム説明会（4/25）」を実施しました。機器の操作方法に関してはだいぶ浸透してきたと感じています。

本校でも、小学部・中学部・高等部全ての生徒に、一人一台のタブレット端末が配置・購入されたことから、今後は、ハード面の操作に加え、「何をどの様に伝えるのか」、

このタブレット端末を「聴覚支援学校としてどの様に活かすのか」が今後の課題ではないかと思えます。この説明会は、5月12日（木）にも行います。

<HP 紹介>

遊びをとめて
学んでほしいですね!!

本校のHPのトップページの下の方に、『学習教材』が紹介されています。宮城県立聴覚支援学校と、東北学院大学「岩本研究室」との共同で開発された、「日本語学習教材」です。



かわいいキャラクターの動画に触れながら、知らず知らずのうちに「語彙力」を身につけることができるように工夫されています。



遊び感覚で学べる教材ということなので、大型連休中にのぞいてみたいと思います。

iPad の画像を Windows10 で表示できますか?

iPad で撮影された画像は HEIC/HEIF 形式で、JPEG 形式よりさらに高い画質で保存されますが、これですと Win10 では画像を開くことができません。

- 対策1：MacPC を使い、[JPEG]に変換する。
- 対策2：変換ソフトを Win10 にインストールする。
- 対策3：Win10 に「HEIF 画像拡張機能」を追加する。
- 対策4：iPad の「カメラ」の設定を「互換性優先」にして撮影する。

■対策3では、なぜか画像を開くことができませんでした。

■対策4は、

iPad の [設定]→[カメラ]→[フォーマット]→(高効率)と(互換性優先)があるので(互換性優先)にチェックすると、以後の画像は、Win10 でも開けます。
(以前の画像は、対策1、対策2が必要かと思えます)

宮城県立聴覚支援学校 情報教育部
(MIYAGI School for Deaf) + (J)

MSDJ 通心 2022.5.12
なんでも情報誌!!

文責：大槻浩義



晴天つづきのゴールデンウェークでしたが、生徒の皆さんは部活動の大会で頑張ったとの報告が顧問の先生からありました（詳しくはHPをご覧ください）。そして何よりも、大きな事故もなく全員登校できたのがうれしく思います。

また、本校の「櫛」も、青い空を背景にして素晴らしい輝きを見せています（5/11撮影）。爽やかな風が枝の間を通りぬけるたびに新緑の葉をゆらしてしていました。

私にとっては連日の晴天は大変うれしいことでしたが、一步郊外に出ると、水田の代掻きも始まっており、そこをねぐらにしているカエルにとっては少々不満があるかも知れません。何事もほどほどということでしょうか。

5月9日（月）に幼稚部ではサツマイモとトマトの作付けがおこなわれました。これからの成長と、収穫が楽しみになりました。

今度はそんな様子が見られたらいいなと思いました。



被服科「手芸」 ランダムのおずかしさ!!

廊下を歩いていると、被服科実習室で楽しそうな授業が行われていました。

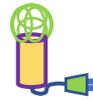
細い毛糸を小さく膨らましたゴム風船に巻き付け、糸を固定するためにボンドで固めていました。色とりどりの糸を風船全体に、まるで「マスクメロンの網の目」のように巻き付けていましたが、はじめは規則正しく巻き付けても、途中からは「ランダム」にするのが、なかなか難しそうでした。

巻き付けが終われば、ごらんのとおり大変かわいらしい球体ですが、最後は風船を割って取り除き、糸だけとなって完成です。



指導されている先生によると、ランダムに仕上げるその手法を「言葉」で伝えるのがなかなか難しいとのことでした。

作品をじっくり見ていたら、球体を載せる「円柱の台座」があって球体の中心に「灯り」がともれば、チョットした装飾品



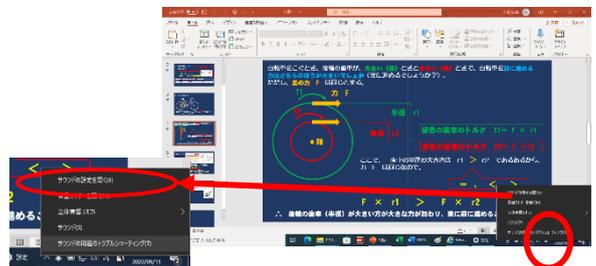
になりそうです。イメージは図の通り…!!
いかがでしょうか？ [それともボツ?…]

Microsoft「PowerPoint」による、 音声字幕変換機能の紹介!!

本校で開催される「会議」では、「音声認識システム」という「音声を字幕に変換する」IT機器を活用していますが、普段の授業においては手話や口話が中心となっています。

先日、この「音声を字幕に変換する機能」について話しをしていたところ、何と「Microsoft PowerPoint」にこの機能があることを知りましたので紹介します。

①【スピーカーを右クリック→サウンド設定を開く】



②【「マイクのテスト」のバーが左右に揺れればOK】



③【PowerPointを開き、スライドショーを実行】

④【常に字幕を使用する・字幕の設定】



※感想:独り言厳禁!! 外部マイクがほしいですね。

こちらのHPを参考にしました!!

<https://allabout.co.jp/gm/gc/487227/>

宮城県立聴覚支援学校 情報教育部
(MIYAGI School for Deaf) + (J)

MSDJ 通心 2022.5.24
なんでも情報誌!!

文責：大槻浩義



高専部 春のレクレーション大会

新年度になって大型連休も無事に乗り越え、本格的な学校生活も始まりました。そのような中、学年を越えた親睦も兼ねて高専部の「春のレクレーション大会」が5月20日の5・6校時に開催されました。

今回の大会では新種目のポッチャが加わり、攻守入れ替わりの戦いに周囲から大きな歓声が沸き上がっていました。

種目によっては、最終的にジャンケンで勝敗が決まるなど白熱していました。優勝は高等部3学年でした。



ひよこ運動会

<早期教育相談>

本校には「ひよこ相談」という幼稚園入園前の年齢のお子さんのための早期教育相談があります。5月23日は4家族の方が来室し「大運動会」が行われました。

最初の種目の「かけっこ・よーいどん」では、お母さんやお父さんといっしょになって滑り台を越え、また、光の出る太鼓をたたきながら元気にゴールを目指しました。どの子も元気いっぱい、遊びの広場には明るい笑顔があふれていました。その他の種目では「バイキンマンをやっつけろ」「とびだせ！うちゅうりょこう！」と楽しく進みました!!



(この運動会は5月27日にも2回目が行われます。)

< 画像編集の豆知識 >

最近、二世前くらいの製品が人気ようです。

1970年代のスポーツカーがウン百万円で取引されていることには驚かされます。現代の性能には及びませんが、手の込んだ作りが魅力なのではないかと思えます。

カメラもその一つで、フィルムを記憶媒体とする「機械式カメラ」の、あの「カシャ!!」というシャッター音が心地良く、写真を撮っているという実感がわいてきます。フィルム式カメラは12枚撮りや24枚撮りと数が限られておりフィルムが貴重だったので、構図や露出、シャッタースピードには気を遣いました。ただし、撮影に慣れてくると大きな間違いは少なかったような気がしています。

一方、デジタルカメラになってからは、被写体の明るさなどはあまり意識しないでいくらでも撮影してしまいます、撮影後の編集で「色調補正」できることが影響しているのかも知れません。

今回はその編集の基本を紹介します。

- ① 明るさ
- ② 色の彩度 (グレースケール)
- ③ 色の変更 (二極化[白黒])



■Wordに貼り付けた写真の上で右クリックをして、「図の書式設定(o)」を選択して各メニューに進みます。

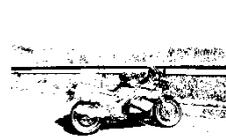
- ① 明るさコントラスト
[明るさの数値 +30]



[明るさの数値 -30]



- ② 色の彩度 (グレースケール)
- ③ 色の変更 (二極化)



今回の「ひよこ運動会」は屋内での開催でしたので、被写体が少し暗く撮影されてしまいました。

そこで、写真を修正 (レタッチ) しました。

次回は、iPadによる簡単な「ビデオアルバム」の制作にトライしてみたいと思います。

宮城県立聴覚支援学校 情報教育部
(MIYAGI School for Deaf) + (J)

MSDJ 通心 2022.6.6

なんでも情報誌!!

文責：大槻浩義



6月 ～ 全校朝の集い ～

昨日までの晴天とうってかわって、今日は最高気温が15度を下回る肌寒い一日でした。間もなく梅雨(つゆ)の季節がやってくるのでしょうか。「雨」は動物たちの活動を制限することがあるので、ややもすると嫌われてしまいがちですが、紫陽花(アジサイ)やカタツムリ(写真はツツジとナメクジです!!)にとっては無くてはならない「恵みの雨」かも知れません。水をふくんだ柔らかな和紙の上に藍色の絵の具を落とした時のような淡い彩りの紫陽花はとてもきれいだと思います。



本校では、年3回「全校朝の集い」を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でこれまでリモートにより行っていました。

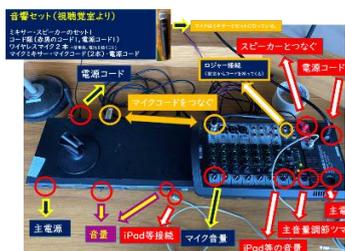
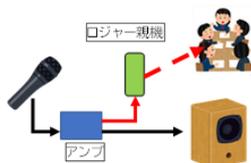
本日6月6日は今年度最初の集いが体育館で行われました。小学部・中学部・高専部までの児童生徒が集い、児生会からは『元気のある花になろう』をテーマとした全校制作の提案がありました。また校長からは、今年度の児生会のテーマから、不可能を可能にした「青いバラ」の花言葉にちなみ「夢かなう」よう取り組んでいきましょうとのお話がありました。



ご提供

ありがとうございます!!

MSDJ 通心 (No.1) でお知らせした、「ロジャーの新しい活用法」に対して中学部の「K先生」から、音響セットを活用したロジャー接続についての説明書を提供していただきました。



配線の系統がわかりやすく表示されていますので皆さんご活用ください。ありがとうございました。

＜ プロジェクターの設定 ＞

全国的なICT機器の整備に伴い本校でも数年前に導入され毎日の学習に活用されています。各学部の先生からは、タブレット端末に追加でソフトウェアをインストールするための申請書が何件も届けられます。

どのような楽しい授業が行われているのか、連絡いただければ皆さんに紹介したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



教室の「プロジェクター」の不具合について問い合わせがありました。3月の震度5の地震の時もそうでしたが、調整ねじの緩みなどで投影に「ひずみ」が生じることもありますので時々調整が必要かと思っております。

■ 黒板が湾曲していたり光軸がズレると投影画面がひずんでしまいます。そのときには、「キートン/コーナーフィット」のボタンを押して微調整することで上下左右の辺が真っ直ぐな画像になります。



■ タブレット端末の「画面ミラーリング」でアップルTVを介してプロジェクターに投影するときには「アスペクト (画面の縦横比)」に注意が必要です。以下の順序で表示画面の縦横比が切り替わります。「ノーマル」または「リアル」が無難かと思っております。



ノーマル → 4:3 → 16:9 → 16:10 → ズーム → リアル

タブレット端末で撮影された画像をそのまま投影できますので試してみてください。

授業が終わりましたら、次の方のために「ミラーリングの終了」をお願いします。

＜ 取扱い説明書の URL はこちら ＞

https://proj-support.maxell.co.jp/jp/service/pdf/CP-TW3506_m_basic_00jpn2.pdf

宮城県立聴覚支援学校 情報教育部
(MIYAGI School for Deaf) + (J)

MSDJ 通心 2022.6.24
なんでも情報誌!

文責：大槻浩義



梅雨の候「カリン」と「ビワ」

昨年より3日遅い6月16日(木)には、東北地方でも梅雨に入り、梅雨のない北海道を除き全ての地域が梅雨入りをしました。

学校の北側には、「カリン」と「ビワ」の木があり、雨に打たれた葉は、深い緑色に輝いています。二つの木の果実は、どの地方でも古くからその成分が薬用として利用されてきたようですが、今年も多くの実を付けました。

また、梅雨の晴れ間にのぞく日差しは大変強いので、熱中症等には十分注意したいものです。



「救急法講習会 6/23」

6月23日(木) 幼稚部・小学部・体育科の先生を対象として「救急法講習会」を日本赤十字社のご協力によって実施しました。救命救急を必要としないことが一番ですが、もしもの時に、「救える命を確実に救えるように」多くの先生方が学び直しました。なお、中学部・高専部・寄宿舎の先生方を対象とした講習会は7月に実施されます。



「校内教職員手話学習会 6/21」

外部より講師を招き、「校内教職員手話学習会」を6月21日(火)に開催しました。

前回(5月)の学習会のテーマは『学校行事で使われる表現』で、避難訓練・校外学習・救急法講習などに使われる言葉について学びました。今回のテーマは『夏休み関連』『二本指の手話』でした。

初心者私の感想としては、同じ言葉でも、顔の表情や指や腕の動作に変化を付けることで、伝わり方が全く違ってくるというのは、SNSなどでは伝わらない「言葉による表現」と同じであると強く感じました。

講師の先生のご好意で動画を収録したので、先生方にも見ていただければと思っています。



クラウドサービス!! Google Workspace 活用研修会

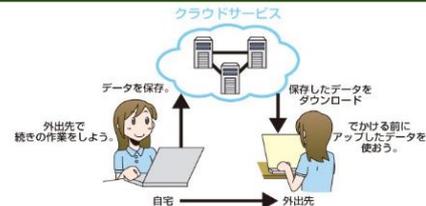
県教委主催の上記の研修会が、長期休業期間を利用して開催されます。本校においても、Google Meet を利用して生徒総会や会議がこれまで数多く実施されてきましたが、今回はアンケート作成 Forms である Google Forms (アンケート作成・管理アプリ) の利用についての研修もありますので参加してみたいかがでしょうか。

7月には、近隣の中学校や、他県の中学校との交流も予定されています。本校の先生方も機器の操作にだいぶ慣れてきたように感じています。

一方で、とても便利なシステムも、セキュリティーという面から十分に注意が必要です。事故の要因は、やはり「情報が開かれている」点にあるのではないかと思います。その一つが、メールの配信のような「クラウドサービス」にあると思われる。

誤送信を防ぐためには、複数の目での確認が必要です。

以下は、総務省の「国民のための情報セキュリティーサイト」の「クラウドサービス」について一部抜粋し掲載しました。



クラウドサービスは、従来は利用者が手元のコンピュータで利用していたデータやソフトウェアを、ネットワーク経由で、サービスとして利用者に提供するものです。

クラウドサービスを利用する場合には、データがクラウドサービス事業者側のサーバに保管されているということ、インターネットを介してデータなどがやりとりされることなどから、十分な情報セキュリティー対策が施されたクラウドサービスの選択が重要であるということを理解した上で利用することが大切です。

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/cybersecurity/kokumin/index.html

「聴覚障害児早期支援研修会 6/14」

6月14日(火)、県内の難聴のあるお子さんにかかわる関係機関の皆様を対象として、第1回聴覚障害児早期支援研修会が本校で開催されました。

研修会は、本校職員による「早期教育相談の概要」・「聴覚障害者について」の説明につづき、情報交換が行われました。聴覚障害児の理解について学びを深めました。

この研修会は年3回開催予定です。

(なお本校では、「ひよこ相談」という幼稚園入学前の年齢のお子さんのための早期教育相談があります)



宮城県立聴覚支援学校 情報教育部
(MIYAGI School for Deaf) + (J)

MSDJ 通心 2022.7.21
なんでも情報誌!

文責：大槻浩義



夏といえば「朝顔」と「海」 まもなく夏休み!!



昨年より2週間以上早い6月29日に東北南部の梅雨明け宣言がなされましたが、その後各地で災害が起きるほどの大雨が続きました。被害に遭われた方々にはお見舞い申し上げます。

例年の梅雨明けは7月24日頃と言われていますから、夏休みとともに本格的な夏の到来といえるのではないのでしょうか。

特に長期の休みの時は、交通事故、水の事故、体調管理には十分に注意したいものです。

7月19日(火)に、海上保安庁の協力のもと、小学部4,5,6年生による「着衣水泳」体験がありました。



「靴」は浮力を得るためには大切であることを学びました。そして「あわてないこと」。また、聴覚に障害がある人のた



めの『海での事件・事故に関する緊急の通報「NET118」』の利用についての情報を提供していただきました。

※「事前登録制」となっています。

【 entry@net118.jp 】

「中学部 他校との交流会」

(7/4), (7/19)

本校中学部では、7月に入り他校との交流会が盛んに行われました。オンラインによるものや、直接訪問いただいた交流会もあり、楽しい時間を共有することができました。

新型コロナウイルス感染防止対策から、オンライン会議の環境整備も加速し、様々な場面で活用が見られました。

今回はその一部をご紹介します。

秋田県立聴覚支援学校との オンライン交流会7月4日(月)

7月4日(月)朝の1時間目の学活の時間に、中学部2学年の生徒と秋田県立聴覚支援学校で、Google meet によるオンライン交流会が行われました。本校からは2年生5名、秋田県立聴覚支援学校から2名の計7名で行われました。

この交流会は、令和4年1月に続き2回目となります。各校少人数のクラスの中で、他校との交流を通して「同年齢の相手と手話で語り合う楽しさを味わう」という目的もあります。地域によって手話に違いがあることも知りました。

今回の交流会の時期が、東ろう体(東北地区聾学校体



育大会[秋田県大会]の直前ということで、大会会場での再会の約束が交わされ、そして実現もできました。

オンラインによる「居住地校交流会」

7月4日(月)

7月4日(月)の放課後、本校の生徒の居住地がある地元の中学校との交流会(居住地校交流会)が、Google meet によって「郡山中学校」と行われました。参加生徒は、郡山中学校生徒会から4名、本校生徒3名でした。

両校の学校の紹介や、学校生活の様子が交わされました。手話による表現についての質問があり、コミュニケーションの取り方についても考えが深まりました。中学生の年代に関心のありそうな質問もあり、その場が大変盛り上がりしました。



「教えてもらった手話を実際に使いたい」、「僕たちも口が見えるようにすればよかった」、「ホワイトボードで交流すればよかった」といった声が、郡山中学校の生徒さんからあったと聞き、とても心強く感じました。そして、一番の収穫は、1kmほどの近くで遠い存在だった学校も、本来の「身近な存在になったと感じられたこと」だったのではないのでしょうか。

聖ウルスラ学院英智中学校との 学習交流会7月19日(火)

新型コロナウイルスの影響で、以前は毎年行われていた交流会も一昨年度は中止でしたが、昨年度はオンライン交流会と、継続に向けて進めて来ました。今年は従来どおりの対面交流で開催されました。

初めの会から始まり、「グループ活動」、「ゲーム」、「手話歌」と進みました。

生徒間の親睦を深めながら、お互いを理解しようとする想いが両校の生徒さんの表情からも伝わってきました。

これからも継続されると良いですね!!



いずれの交流会も事前準備が十分なされ、また、オンラインのリハーサル等を経て当日を迎え、有意義な時間を共有できました。

宮城県立聴覚支援学校 情報教育部
(MIYAGI School for Deaf) + (J)

MSDJ 通心 2022.8.24
なんでも情報誌!

文責：大槻浩義



残暑の中「学校再開」

カブトムシもごらんのとおり成長しました!!

約一ヶ月間の夏季休業を経て今日から学校が再開されました。いよいよ前期の終盤にさしかかりました。まだ残暑は厳しいですが、もう少しだけ夏を楽しみたいと思います。また、これから12月に向けては、それぞれの校種でそれぞれの目標を掲げ多くの行事が実施される期間となります。健康には十分気を付けて学校生活をおくりたいものです。



休みの日も生徒さん達は、部活動や進路に向けた補習等と学校に足を運んでいました。



高等部のバドミントン部では、7月30・31日に行われた県新人大会で念願の3回戦出場を果たしました。3回戦ではインターハイ常連の「ウルスラ高校」との対戦。たくさんの気づきや学びがあった大会となりました。

卓球部では、全日本卓球選手権ジュニアの部仙塩地区予選で県大会出場を果たしました。こちらも、県総体時の悔しさをバネに勝ち取った成果だったようです。

選手の皆さんに限らず、次のステージに挑戦し、新しい世界に触れてほしいですね!!



先生方も研修会に参加

いくつか紹介します!!

夏季休業中、先生方も多くの研修会に参加しました。全てをここに載せることはできませんが、いくつか紹介したいと思います。中には非常に便利なツールもありました。

校内ソフトウェア研修会 (Excel 編) 8/4 (木)

「校内ソフトウェア研修会 (Excel 編)」を、パソコン室で行いました。Aコース (基礎編) とBコース (中級編) それぞれ60分で行いました。

事前にお配りした「Excel 練習帳」にトライされていたので、慣れない私の説明にも非常にスムーズに取り組んでいただけました。そのようなことで、知っていたら便利な機能についても追加して紹介することができました。参加されたみなさん、大変お疲れ様でした。

実はこの「Excel 練習帳」は、生徒の情報の授業で、「アプリケーションソフトウェア」の単元で教材として使用する予定です。興味のある方はより使い易く加工してご活用いただいてさしつかえありません。



なお、この研修に限らず、ICT活用でご不明な点があれば、質問に関しては「共有化」を図りたいと思いますので、情報教育部にご相談ください。

はじめての Google Forms 8/5 (金)

宮城県教育委員会主催で、Google Workspace 活用研修会「Google Forms でアンケートを作成しよう『修学旅行希望アンケートの作成』」のオンライン研修を受講しました。

「とても便利・そして簡単」というのが率直な感想でした。ただし、セキュリティ面にも配慮しなければなりません。そのためには設定項目のONとOFFに注意が必要です。

詳しくは、当日配布された『実習書』をいつものフォルダに入れておきます。ダウンロードしてご自由にご活用ください。

また、この活用研修会は10回開催され、この他の研修を受けられた先生もいますので、様子をうかがいたいと思います。

なお、この研修会では学習用コンテンツの紹介もありましたのでご覧ください。



手話を学ぶ会 7/28, 8/2, 8/3

専門講演会 8/19 (金)

聴覚障害教育の専門性及び指導力の向上を図ることを目的として、『聴覚障害児とその保護者が抱えやすい悩み』と題して東北福祉大学教授 庭野賀津子先生による専門講演会が開催されました。生徒が抱えやすい悩みや保護者の方の悩みについてのお話のなかから、子どもたちの孤立を防止する重要性和、そのためには手話によるコミュニケーションは必要とのことでした。

職員の手話力向上を図ることを目的として『手話を学ぶ会』が実施されました。手話検定レベルを目安に4グループに分かれ、DVDを使いながら手話単語の学習および手話の読み取り練習が行われました。



宮城県立聴覚支援学校 情報教育部
(MIYAGI School for Deaf) + (J)

MSDJ 通心 2022.9.22

なんでも情報誌!

文責：大槻浩義



暑さ寒さも彼岸まで!!

・・・ 校内探索 ・・・

台風14号の影響により西日本で甚大な被害にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げます。幸いにも本校では人や校舎への被害はありませんでしたが、まだまだ台風が季節が続きますので注意したいものです。

今回の台風で備え、廊下には小学部の1年生が育てた「朝顔」のプランターが置かれていました。ぎっしりと種を付けていましたが、よく見ると、まだきれいな青紫の花を咲かせています。夕方同じ花に目をやると、なんと赤紫に変わっていました。

もうしばらくしたら、カリッとした殻に覆われた無数の種が、来年の開花に向けて弾けるのではないのでしょうか。

収穫が楽しみですすね!!



小学部1・2年生が、1列になって校外学習に向かい、河川敷で「虫」を採取してきました。緑の虫かごの中には、この季節を代表するトンボやバッタがいました。

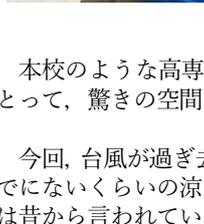


さっそくスケッチです。とても上手ですすね。感心しました。子どもたちは先生と、夢中になって虫の話をしていました。



小学部4年生が、専攻科の実習の授業を見に来ました。

実習では「制御」について学ぶなかで「ブラレール」を題材として遠隔制御に取り組んでいます。機械が好きで、特に「鉄道」に関心があるとのことでした。たくさんの質問があり、また立派なお礼の手紙もいただきました。



本校のような高専部の専門学科のある教室は、小学部の生徒にとって、驚きの空間です。気軽に探索してほしいものです。

今回、台風が過ぎ去った後に一気に気温が下がり、朝晩はこれまでにないくらいの涼しさとなりました。「暑さ寒さも彼岸まで」とは昔から言われていますが、9月10日の十五夜といい、確実に季節は流れているなど感じました。

第56回全国ろうあ者体育大会 in 北海道

(聴障宮城 ニュース 9月号 No.490)

9月15日～18日、第56回全国ろうあ者体育大会が北海道で開催されました。卓球競技には、本校のOB・OGの佐藤選手、百目木選手が県代表として出場しました。詳細・結果については情報が入り次第お伝えします。

社会人として今後の活躍を期待したいと思います。

iPadによる動画編集入門

行楽シーズン、運動会シーズン、夏の思い出等々、撮り溜めた画像や動画をそのままパソコンに入れていても、後になって見ることは少ないような気がします。お気に入りのシーンは、編集作業をして大切に保管したいものです。

今回、iPadによる動画編集の一例をご紹介します。

動画編集も目的に応じて、学校紹介のようなものから、スライドショーのようなものまで各段階がありますが、今回は、撮り溜めた写真の中から10数枚選び、動画風スライドショーの作り方を紹介します。

① iMovie のアイコンを選ぶ



② + を選択すると新しい作品を作るに進みます。



③ イメージに合ったテンプレートを選ぶ。



***** いよいよ編集の段階です *****

④ 右上の「作成」を押すと、「アウトライン」・「絵コンテ」となるので、アウトラインでタイトル記入し、絵コンテで、画像を貼り付けていきます。



⑤ 画像（または動画）を、iPadのフォルダ内から選びます。
(SDカード・USB可)



⑥ ハイ できあがり・・・。

テンプレートは10数枚のシーンに音楽やコメントをつけて、大体2分以内の長さで納められています。とても簡単です。挑戦してみたいはいかがですか？

<ひよこ相談 土曜集団活動の紹介>



9月10日(土)に「あつまれ!ひよこ同窓会」を行いました。

前半は弦楽合奏団「ゲッケロゾリステン」によるコンサート。「ドラえもん」「トトロ」などの楽しい音楽に、一部の幼児は思いきり体を動かし、参加者みんなで手拍子をしながらか、音楽の秋を楽しみました。

後半はパパ・ママグループに分かれておしゃべりタイム、それぞれ先輩パパ・ママからの話を聞いた後、質問したり、お話をしたりしました。

どちらのグループも時間が足りないくらいで、とても有意義な時間となりました。

<ひよこ相談より>



校内の情報提供大歓迎です。
お待ちしております!!

宮城県立聴覚支援学校 情報教育部
(MIYAGI School for Deaf) + (J)

MSDJ 通心 2022, 10, 26
なんでも情報誌!

文責：大槻浩義



宮ろう祭 一般公開 (10/22)

幼・小・中・高専

素晴らしい発表がありました!!

バックヤードもどうぞ!!



「元気のある花になろう」をテーマに、令和4年度宮ろう祭が盛大に開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で来場者の制限もありましたが、保護者のみなさまには見ていただくことができました。

私自身は情報担当として、ステージ発表のお手伝いをしました。おかげで、幼・小・中のステージ発表を間近で見ることが出来ました。

バックヤードでは児童生徒が次のステージ発表に向け、緊張した面持ちで準備をしていました。もちろん先生達も同じです。「ここからが本番です!!」との掛け声で気持ちを一つにして、ステージに向かって行きました。

ステージ発表では観客の入場制限をしたので、学部毎に保護者が入れ替わる事となりました。発表の様子は、Zoomによって校内に設置したモニターに配信して、校舎内でも展示発表の合間に観覧できるようにしました。

専攻科の手作りギターでの演奏→



iPad による動画編集入門その2

「習うより慣れろ」が上達への近道です!!

10月12日(水)に情報教育部主催で「動画作成」の講習会を実施しました。また、今回のMSDJ通信は、iPadによる動画編集入門その2になります。

<講習会で準備したもの>

- ① iPad
- ② 画像(静止画).....iPadでその場で撮影しました。
- ③ ビデオ(動画)・こちらもiPadでその場で撮影しました。

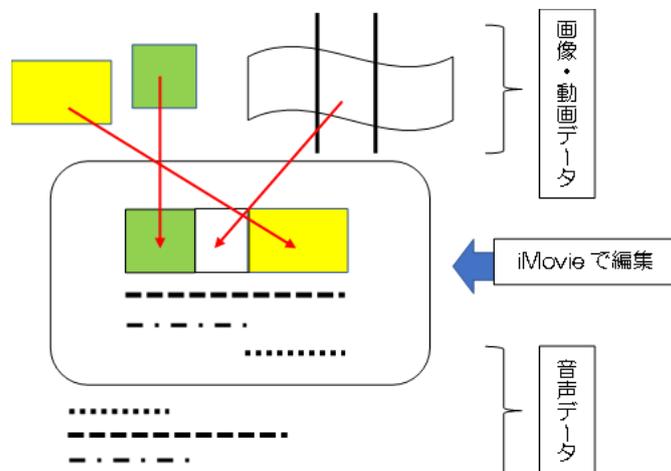
<基本的な編集>

- ① 画像とビデオを交互につなぎ合わせることが出来ます。
- ② 画像やビデオの再生時間(秒数)を自由に設定できます。
- ③ 画像やビデオの画面に、文字を表示することが出来ます。
- ④ ビデオの音声とは別に音声データがあれば、ナレーションとしてビデオに重ね合わせることが出来ます。
- ⑤ 音声データの音量を自由に設定することが出来ます。

<使用したソフトウェア>

- ① iMovie

■動画編集のイメージ図



■手順

- ① iMovieの起動 
- ② 「+」を選択すると新しい作品を作るに進みます。
- ③ ムービーを選択 
- ④ 画面下の【ムービーを作成】を選択する。
- ⑤ 画面中央に、【+タップしてビデオ、写真、オーディオを追加する】が表示されるので、「+」をタップして、iPadに保存されているビデオ・写真(画像)のデータを呼び込みます。
- ⑥ ビデオ画面を取り込み、そのビデオをタップすると、画面下に【分割】と表記されるので、必要な部分を「切り取り」ます。



- ⑦ 以下、同じような手順で必要なビデオや画像を「作業スペース」に呼び込み、画像の長さ、速度、音量調整、タイトル挿入、画像と画像の繋ぎのスタイル設定等、自由に編集出来ます。
- ⑧ まずは編集時間「2分」程度のビデオ作成を目標にしてみましょう。ここまでできたらビデオ編集の80%は修得できたのではないのでしょうか。
- ⑨ 著作権、肖像権、パブリシティ権には注意が必要です。
- ⑩ 凝り過ぎによる寝不足には十分注意しましょう!!
(VDT作業による健康障害やテクノストレスに注意)

宮城県立聴覚支援学校 情報教育部
(MIYAGI School for Deaf) + (J)

MSDJ 通心 2022.11.29
なんでも情報誌!

文責：大槻浩義



**秋から冬へ
少しだけ夏!!**



味覚の秋。幼稚部
で春に植えたサツマ
イモの苗もご覧のと
おり、立派な焼き芋
に変身しました。

早速「焼き芋会」(10/27)が行われ、
幼稚部をはじめひよこ組の皆さんのおなかの中に入りました。



今年は柿の当たり年なのでしょか、小学
部の中庭の木には柿の実がたわわに実って
いました。またその
横では、夏の風物詩
の「ヘチマ」がまだ

まだ元気に実っていました。確実に季節が
進むなか、あらためて夏が懐かしくな
りました。(10/27 撮影)



中庭の柿は渋柿なのでそのままでは食
べるとは出来ません。干し柿にすると美味
しくいただけます。教室の軒先には幾つか
つるし柿がありました。食べ頃を見計ら
って飛来するスズメ達には注意が必要で
す。そのようなことなので、もぎ取った柿
の木の先端には鳥たちへのプレゼントとして熟した柿の実が幾つ
か残されていました。この柿の実が落ちる頃には初氷となり本格的な冬の到来となるのでしょうか。



新旧役員の引き継ぎに続き、児生会のリ
ーダー研修会がありました。(11/21)



居住地校学習 オンライン交流
小学部 6校と交流しました!!

MSDJ 通信 No.8 でお伝えした中学部
による「居住地校学習」オンライン交流会です
が、11月には小学部でも実施されました。

今回は、3~6年生までの児童の居住地校の
6校と、オンラインによる交流と学習が行われ
ています。

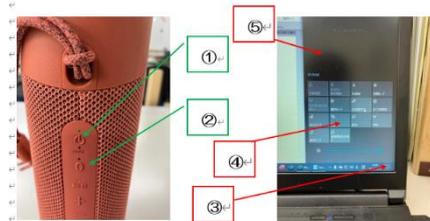
事前に綿密な打ち合わせを行い、当日を
迎えました。実施する中で、新たな気づきもあ
ったようです。タブレットによる学習用アプリ
ケーションを活用して先生と児童がオンライ
ンでの学習をおこなっている学校もあったよう
です。今回の居住地校学習を担当された本校の先生からも、今後の授業に向けたアイ
ディアが寄せられています。

本校でも GIGA スクール構想による「端末機」の整備も進むな
か、次のステップに差し掛かっているような気がしています。

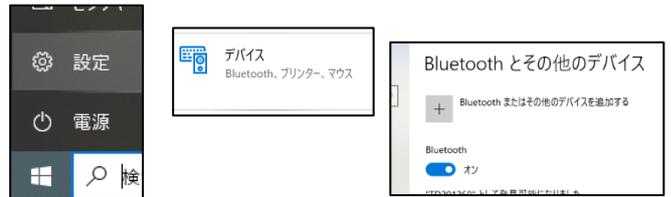


**ワイヤレススピーカー
SONY SRS-XB23 使用について**

- ① SRS-XB23 の電源を on
 - ② BLUTEOOOTH のスイッチを押す (青色に点滅)
 - ③ パソコンの右下のタスクバーの「アクションセンター」を選択。
 - ④ メニューの「接続」を選択。
 - ⑤ 画面上部に「SRS-XB23 スピーカー」と表示されたら選択。
- 以上で、パソコンと SRS-XB23 スピーカーは繋がりました。
音量は、SRS-XB23 側とパソコン側で調整



Win10 のバージョンによってはこの画面が出ない場合もあります。
「設定→デバイス→ Bluetooth を on」



**全国アビリンピック
県代表として全国大会出場**

機械システム科専攻科 2 年の中村さんは、
令和 4 年度アビリンピック宮城県大会で優勝し、去
る 11 月 4~6 日に千葉県で
開催された「全国アビリンピ
ック (障害者技能大会) ワード・プロセッサ部
門」に初出場しました。

入賞は逃しましたが、全国のレベルに触れた
ことは貴重な体験であったと思います。ご苦労様でした。



**機械システム科
マシニングセンタ!!**

令和 3 年度事業で機械システム科に導入
した「マシニングセンタ」が授業で稼働し
ています。

授業では、2次元による CAD の授業を
発展させて 3次元 CAD に挑み製品を設計



しました。そのデータをプログラムに変換し
ながらマシニングセンタに読み込ませるこ
とで自動的にエンドミルによる溝加工やボス加
工を行います。

生徒が考案したデザイン・・・「ゲームのコントローラー」



宮城県立聴覚支援学校 情報教育部
(MIYAGI School for Deaf) + (J)

MSDJ 通心 2022.12.21

なんでも情報誌!

文責：大槻浩義



「MSDJ 通心」の9ヶ月!!



MSDJ 通心のタイトル横からいつもこちらを覗いている「白猫」の名前は「チャコ」。写真は、水を頭から掛けられ前髪が少し乱れているノラ猫ですが、ご近所ではそのように呼ばれて愛されています。

実は、白い猫はもう一匹いて、そちらの名前は「マコ」といって、チャコと比べておとなしく人になついています。また、マコといつも一緒だった茶色のネコ「キキ」は、交通事故に遭ってしまったとのこと。

この二匹、見た目は瓜二つですが、よく観察すると性格が真逆のように感じられます。今後ともご注目ください。



12/19・21, 早期教育相談(ひよこ)でクリスマス会がおこなわれ、たからさがし de ファッションショー、クリスマス音楽会など、楽しい催しがありました。サンタとトナカイが登場し子どもたちは大喜びでした。



■ 3/10 小学部学びの発表会

防災教育をテーマとした総合の学習が今後5年間行われるとのことでした。3月11日の鎮魂の日を前日に控え、とても立派な発表会でした。



■ 4/11 入学式 補聴援助システム ロジャーの新しい活用法!!

現在ではすっかりお馴染みになったロジャーです。集会時の設定もスムーズになっています。これからも場面に応じて積極的に活用していきたいものです。



■ 4/6・12 「情報モラル」研修会



年度初めの慌ただしいときにこの研修を設定しています。年度初めだからこそ、押さえておきたいことはしっかりやりたいものです。

■ 4/25

校内オンラインシステム説明会

職員会議・他校との交流・職員研修と、オンラインシステムがすっかり定着しました。その中で、機器の操作については先生方同士のネットワークが一番だと感じました。



HP 紹介

本校のHPにある右記の『学習教材』は、宮城県立聴覚支援学校と、東北学院大学「岩本研究室」との共同で開発された、「日本語学習教材」です。是非ご活用ください!!



■ 5/24 画像編集の豆知識

撮影後の「色調補正」の基本を紹介しました。①明るさ、②色の彩度(グレースケール)、③色の変更(二極化[白黒])。クラス通信、学年便りにご活用ください。

■ 6/6

全校朝の集い

これまでリモートで行われていた「全校朝の集い」でしたが、小学部・中学部・高専部までの児童生徒が一堂に会し行われました。児生会からは『元気あふれる花になろう』をテーマとした全校制作の提案がありました。



プロジェクターの設定

今年度に入ってから地震に見舞われ、架台が歪んでしまうことがありました。

また、違うボタンを押してしまい困った事に。MSDJ 通心 (No. 6) こちらをご覧ください。



■ 6/24 「聴覚障害児早期支援研修会 6/14」

県内の難聴のあるお子さんにかかわる関係機関の皆様を対象として、第1回聴覚障害児早期支援研修会が本校で開催されました。本校においても、オンラインによる情報発信が本格的に行われました。



■ 7/4・19(中) 11月(小) 「他校との交流会」

他県の聴覚支援学校や、本校の生徒の居住地がある地元の学校との交流会(居住地校学習)が Google meet によるオンラインで行われました。

生徒数減による1人学級の問題を、オンライン交流で解決できないか、まずは教員同士のネットワークづくりが急がれます。



■ 8/4 校内ソフトウェア研修会(Excel 編)

今回は Excel を題材に行いましたが、その他に何かご希望があるでしょうか。一緒に解決していきましょう。



■ 9/22 10/25 校内探索・動画編集入門

校外学習や他学部見学、宮ろう祭と、活発な授業・行事が行われました。

大切な思い出は、動画に編集して保存しましょう。



■ 11/29 秋から冬 少しだけ夏



宮城県立聴覚支援学校 情報教育部
(MIYAGI School for Deaf) + (J)

MSDJ 通心 2023.1.26
なんでも情報誌!!

文責：大槻浩義



本格的な冬の到来

今シーズン初めての真冬日!!

1月25日(水)は、ここ仙台でも1日の最高気温が0℃以下の真冬日となりました。遠くでは、中部地方から近畿に抜ける「新名神高速道路」の渋滞の様子がメディアをとおして知ることができました。そのほとんどの車両は私たちの生活物資の物流を担うトラックの列でした。

身の危険を感じるような状況においても職務に徹する方々には頭が下がる思いと、今では当たり前となった新鮮さを売りにした食材や宅配のシステムにも、消費者としてはもっと寛容でありたいものだ、あらためて思いました。

被害に遭われた方々にはお見舞い申し上げます。

ややもすると歓迎されない雪ですが、ご覧のとおり寒椿がとてもきれいです。生徒の皆さん、足元には十分気を付けて登校してください。



音声文字変換ソフト 筆談のツールとしても活用

生徒とのコミュニケーションツールとして「こえとら」を紹介します。



Google Play HPより

聴障者と健聴者のコミュニケーションをサポートするアプリです。

聴障者が健聴者とコミュニケーションする方法としては筆談が一般的ですが、時間がかかる、面倒などの理由で、聴障者が必要な情報を得られないことがあります。

「こえとら」は、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)の研究成果である音声認識技術や音声合成技術を活用することにより、スムーズなコミュニケーションを支援します。



- ・音声で答える
- ・文字で答える
- ・絵、字を書く
- ・定型文を選ぶ

特長：聴覚障害者とのコミュニケーション支援ツールで、音声文字入力と画面上で文字入力ができる。

効果：手話での伝達や口話の読み取りに自信がなくても「文字」を介して双方向伝達できる。

■その他にも、先日支援部から掲示板で紹介のあったアプリもありますので参考にしてください。

特定非営利活動法人 全国文字通訳研究会
第13回パソコン文字通訳シンポジウム 紹介チラシより



シーラカンス? ダンボ? 見る人によって様々です!!

小学部一年生の廊下では、模造紙で作られた「ダイナミックな生物」が、毎日私の目を楽しませてくれています。生徒さん全員で制作したそうです。

担任の先生に、「シーラカンスとモスラがとても良くできていますね」と話したところ、「私にはダンボにしか見えません」と言われてしまいました。なるほど。そうか。と想像性が乏しい自分に反省しましたが、近くにいる学部主事の先生に「世代が違うのでしょうか」とフォローされ、皆で大笑いしてしまいました。

どの作品もよくできていました。魚のウロコが立体的で、幾十にも重なっているところに、頭の中で色を合わせてみました。何度見ても素晴らしいです。

以前の昆虫採集した後の写生といい、今後が楽しみです。

(モスラは「温厚で、守護神のような存在」であることを、モスラに代わって申し添えます。)



オンラインによる学習支援(中学部)

本校では寄宿舎の利用が中学部から可能ですが、遠方から通学している生徒さんもあります。

今回の悪天候の影響でやむを得ず自宅学習を選んだ生徒さんもありました。そこで、今回オンラインによる学習支援を学部で実施しましたので紹介します。

Google Classroomで学校から授業を発信するとともに、生徒さんも家庭でiPadを使って授業に参加することができました。

このような取り組みは以前ですと「試み」として情報教育部に相談されることがありましたが、今回は担当の先生がごく当たり前のように取り組んでいて、この一年間での大きな変化に驚きました。実施されての感想をどこかうかがいたいと思いますので、よろしく願います。



宮城県立聴覚支援学校 情報教育部
(MIYAGI School for Deaf) + (J)

MSDJ 通心 2023.2.10
なんでも情報誌!

文責：大槻浩義



流石(さすか) 6年生 ハイブリッド 赤鬼・青鬼

2月3日、幼稚園での豆まきの大役を終えた「赤鬼と青鬼」が6年生の教室に迷い込んでいるところに遭遇しました。

【勉強してるか〜…】『もうすぐ中学生だぞ〜…』
「あれ？ ナ・グ・ゴ・ハ・イ・ネ・ガ〜…
もしかして ナ・マ・ハ・ゲ ? 」

現代は21世紀です。鬼達もハイブリッドの世代なのかも知れません。

とてもやさしい6年生の皆さんは、このような赤鬼・青鬼にとまどいながらも勉強に励むことを誓っていました。流石!!



■ 寄贈図書教材の紹介

令和4年度 公益財団法人 日本教育公務員弘済会宮城支部から図書・教材を寄贈していただきました。

今回は図書に加えて学習教材も含まれています。

一例をあげますと、「ことばカード」「micro:bit v2.2 セット」

「理科実験・観察器具使い方ガイド」「大科学実験 DVD-BOX」等々です。年度途中でありますが早速活用をいただいているところもあります。

各学部で調整しながらの活用をお願いします。

【目録は各学部で確認してください】



■ プロジェクターのフィルター清掃 エラーメッセージが出たら情報教育部まで…。

GIGA スクール構想によって整備されたICT機器も3年が経過し、日常的なメンテナンスの必要性が明らかになってきました。

先日ある教室で、プロジェクターの不具合の報告がありました。画面右下に「吸気口の・・・」と表記され、電源が自動的に切断されてしまう症状です。フィルターの目詰まりによるもので、清掃すればある程度は復活します。今後、一斉清掃を予定していますのでご協力ください。

なお、タッチペンの動作の不具合は、キャブレション、または、随時電池交換をお願いします。



■ 年度末…あらためて セキュリティーチェック!!

☆みんなで守りましょう!!

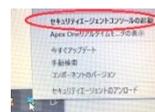
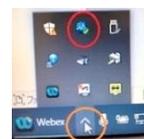
- ・私物 USB, HDD の利用禁止
- ・定期的な「ウイルスチェック」
- ・PC を使った充電禁止
- ・校務用 PC と iPad の接続禁止 (R5/2/2~
Google ドライブを介してデータ利用可)
- ・離席時の PC ロック

●定期的な「ウイルスチェック」

USB を接続するときにはその都度「ウイルスチェック」。

【手順】

- ① USB を接続
- ② セキュリティーエージェントを右クリック。
- ③ セキュリティーエージェントコンソールの起動を左クリック。
- ④ 検索を選び、検索するフォルダを選択し、検索をクリック。
- ⑤ ウイルス検索が開始され、30 秒ほどで結果が出ます。
- ⑥ 検出されなければ、USB を開くことができます。



●PC 作業中に「ウイルス感染の警告」があったら!!

- ① LAN ケーブルを抜き、パソコン本体のウイルスチェック。
- ② 無線 LAN 接続の場合は、オレンジの所の Wi-Fi をクリックし、黄色の所で「切断」。その後、パソコン本体のウイルスチェック。



令和4年度、ウイルスに感染したPCの報告はありませんが、引き続きよろしくをお願いします。



「低気圧の影響で風過ぎから雨や雪のところが多くなるでしょう」の予想どおりの雪となりました。
(2/10)

宮城県立聴覚支援学校 情報教育部
(MIYAGI School for Deaf) + (J)

MSDJ 通心 2023.3.24
なんでも情報誌!

文責：大槻浩義



春の予感

それぞれにほんとうの春を!!

3年前の3月、コロナ禍の影響で東日本大震災以来の臨時休業となった学校は、生徒不在の静まりかえった寂しい春の風景でした。

しかしそんな中でも庭に咲く草花や木々の芽吹きは、コロナ禍の不安を打ち消すように、私たちに勇気を与えてくれました。

今年の4月からはマスクの着用への考え方が見直される事となりました。

いよいよ私たちも、穏やかで落ち着いたほんとうの春を迎えられそうです。



■ 小学部 学びの発表会 3/10(金) 立派なプレゼンの様子ですね!!

今年も昨年に引き続き、3月10日(金)に「小学部学びの学習会」が行われました。

小学部より紹介していただきましたので、ご覧ください。

3月10日(金)、小学部で『学びの発表会(防災学習)』が行われました。

学年ごとにテーマを決め、調べて分かったことを、それぞれ模造紙やプレゼンテーションにまとめて一人一人発表しました。

3年生は「火事から身を守る」をテーマに、学校周辺にある防火水槽や消火栓について調べました。

4年生は、東日本大震災で大量に出た「震災ごみ」をめぐるトラブルや処理についてまとめました。

5年生は、水害に関する内容を調べ、台風やゲリラ豪雨について詳しく教えてくれました。

6年生は、震災遺構である荒浜小学校の見学を通して、津波の怖さや防災グッズについて発表しました。また、最近、ニュースなどで取り上げられる「火山災害」を調べた発表もありました。

どの発表も分かりやすく、子ども達は、災害時に自分の命を守るための行動について学ぶことができました。



【小学部主事】

■ 各学部の情報教育から感じること コンピュータリテラシー系統と指導計画!!

■ 小学部の取り組み

令和4年度の「小学部 情報教育 全体計画」にはコンピュータリテラシーの系統及び指導計画が定められ、先に紹介した「小学部学びの学習会」では「防災学習」については「ICT活用を手段」として、一年間の取り組みが発表されました。各学年ともにメディアの特性に応じながら、プレゼンテーションソフトを用いるなどして自分の考えを表現していました。

また、これとは別の授業ではプログラミング教材を活用した学習が行われ、生徒が主体的に授業に取り組んでいました。今回は小学部5・6生で行われたmicro:bit v2.2を用いたプログラミングの授業風景を紹介します。(作品：ゲーム・サイコロ・音楽等々)



■ 情報活用能力

このような小学部の学習活動を見ますと、今後の情報教育における「情報活用能力」は、小・中・高と各段階に応じた目標を明らかにし、継続的で発展的な学習活動が求められているとあらためて強く感じました。

ただ注意したいと感じることは、ICTは様々な活動の「手段」であって、ICT活用が目的では無いこと言うことです。プレゼンテーションにおいても、先の学びの発表会の事例のように、模造紙を用いたような発表が、それを発展させたところでICTを活用した方が良いと生徒自身が気づけば、少しずつ取り入れていくという姿勢が肝要ではないでしょうか。統計資料を追加したり、グラフ化したりと。もちろん水先案内人は必要ですが。



■ 情報教育と「本校が目指す子ども像」

教育目標に「確かな日本語力を目指した言語指導の充実」があり児童・生徒には「言語を用いた発信力」が求められています。このことから目指す子ども像としては「豊かに正しく表現する子」があげられています。

学習指導要領の改訂に伴い、学校教育には、「子どもたちが・・・他者と協働して課題解決して行くことや・・・求められている。」(高等学校学習指導要領解説・情報編より)といった課題が掲げられています。

このようなことから、聴覚支援学校としての本校では、高校の「情報I」の目標の一つでもある「効果的なコミュニケーションの実現・・・」を最終目標に据え、学校として連続性を持った指導計画が思い浮かべられます。

本校のように、各学部が揃っている「一貫校」としては、校種間の連携を取るならば、来る高等部の普通科新設に合わせ「情報I」の力の入れどころも見極め、本来の所期の目的が十分に達成できるのではないかと考えます。



一年間 ご愛読ありがとうございました。